

12月度 <b>例会</b> 山行報告書		報告者	松中	参加メンバー	CL:町田、SL:山田(装備)、 松中(食糧・会計)、全豊 田山岳部員 16名(うち 2 名は 9日のみ) 計 19名
個人		報告日	12 / 12		
山域	木曾	山行日	07年 12月 8日(土) ~		
山名	御嶽山		07年 12月 9日(日)		
山行目的	雪上訓練				

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)	コースタイム (天候: 天気図記号)	
	12/8 (土) 快晴のち曇り 4:00 刈谷発 7:30 御岳ロープウェイ 駐車場着 8:00 集合 ロープウェイ乗車 9:25 飯森駅登山口発 11:30 女人堂着 テント設営 12:30 雪上訓練 15:30 終了 夕飯 19:30 就寝	12/9 (日) 曇り時々雪 4:00 起床 5:50 山頂アタック 7:10 ~ 20 休憩 8:15 9合目小屋 (アイゼン装着) 8:30 強風のため下山 (3,001m) 9:30 女人堂着 テント撤収 10:30 閉会の挨拶、下山 11:15 飯森駅登山口着 ロープウェイ乗車 11:45 駐車場発 12:30 木曾温泉 13:30 温泉発 17:10 刈谷着、解散
2.5万分の1地図: 木曾福島、御嶽山		

山行報告 早朝4時に刈谷を出発、全豊田のメンバーと合流後、御岳ロープウェイに乗り込んだ。天気は快晴、真っ白な乗鞍岳と奥穂・前穂高岳が眩しく映る。飯森駅付近の登山口より既に積雪があり、交代でラッセルが始まった。3人で分けた装備等が重く肩にのしかかる。私の本格ラッセルデビューは・・・1.2歩進んだ所でバランスを崩し転倒。しばし雪とたわむれていたが10分ほどがんばってみた。2時間の雪道との奮闘の末、ようやく女人堂に到着。テント設営後、アイシンの木田さんと中村さんによる雪上訓練。今回は適切な斜面がないので滑落停止は出来なかったが、ピーコン・ゾンデ棒の取扱い、埋没体験、支点確保を行った。雪の中に埋まると息はできるものの真っ暗で、手・足を全然動かさなかったのが印象的だった。15:30に1日目の行動が終了。テントでは、町田さん調達の牛肉と白菜・ネギなどの無農薬野菜で、すき焼きを味わった。翌朝は4:00起床、雪が舞う中の山頂アタック。夏道を登る予定だったが、先頭のミスor計らいで少し北寄りのコースを取り、おかげで(?)膝から腰までのラッセル訓練となる。先頭集団の中、山田さんがラッセルに励んでいる。17人での交代ラッセルが1時間半続いた後ようやく休憩に。次第に風が強くなってきた。9合目小屋直下にて私にも本日2度目のラッセルの番だが、既に体力を消耗しているため思うように進まない。つま先で雪を蹴り込む気力もなくなった頃、町田さんにバトンタッチ。そのまま小屋までスタスタと登

って行った...さすがです。小屋にてアイゼンを装着、稜線に出ると今まで経験したことのない強風。吹き飛ばされまいと必死になるが3,001m付近でこれ以上進めないとの判断、登頂を断念する。下山は夏道コースを取り1時間で女人堂に到着。中研の岩堀さんより閉会の挨拶があり雪上訓練が無事終了した。下山後、稜線で強風を受けた右頬が凍傷になっていることに気づき、改めて冬山の厳しさを実感した。

リーダー所見 一日の装備・食料・雪訓装備を担いで、ひざ下の時に腰までのラッセルを各社の精鋭に劣らず黙々とこなす両君の姿を見て頼もしい限りでした。一級の寒気で企画された頂上アタックは惜しくも強風で山頂には立てませんでした。冬山の厳しさを体験できた良いトレーニングになったと思います。次回は多くのメンバーですき焼きを食べたいですね。



稜線にて強風に耐える  
(Photo by 中研 福井さん)

確認  
(リーダー)  
町田  
07/12/12  
作成  
(報告者)  
松中  
07/12/12